

2024 年 5 月 30 日

ダイキンと三浦工業による資本業務提携

総合空調メーカーのダイキン工業株式会社（以下、ダイキン）と産業用ボイラメーカーの三浦工業株式会社（以下、三浦工業）は、5 月 30 日に開催された両社の取締役会で資本業務提携することを決定しました。

今回の提携では、ダイキンが三浦工業に出資し発行済株式の 4.67%を取得、三浦工業はダイキンの 100%子会社である株式会社ダイキンアプライドシステムズ（以下、ダイキンアプライド）への出資を行い、発行済株式の 49%を取得します。両社が持つ製品や技術・サービスなどの事業ネットワークを活用することで、業種によっては 1 つの工場で使用される総エネルギーの 50%相当に関与することが可能になります。両社は、日本各地の工場で空調や蒸気ボイラ、水処理システムなど熱・空気・水に関するトータルソリューションの提案をワンストップで実施し、工場市場でのカーボンニュートラルの実現に向けた具体的な協業を開始します。

ダイキンは、ヒートポンプやインバータなどの環境技術を活かした、省エネ性の高い空調機を製造・販売し世界 170 カ国以上で事業を展開しています。グローバル各地域の特性や市場用途に応じた商品を展開し、顧客のニーズに合ったソリューションの強化を進めています。ダイキンアプライドは、食品・医薬品・化学・電機など各種工場の冷却加熱設備や産業用空調設備、環境試験室、クリーンルームなど、空気・熱に関わるモノづくりの現場で最適な現場の提供をめざし、さまざまな提案を行っています。

一方、三浦工業は、産業用ボイラのトップメーカーとして、工場・ビル・病院など暮らしのあらゆる熱源となる蒸気ボイラをはじめ、水処理機器・食品機器・医療機器等の製造・販売・メンテナンスを行ってきました。国内にはお客様の工場内を熟知した 1,200 名を超えるフィールドエンジニアが、機器のメンテナンスを行うとともに、お客様にとって最適な熱のソリューションを提案しています。

カーボンニュートラル実現をめざし、国や企業での取り組みが加速しています。工場は、電力消費量や CO₂ 排出量において多くの割合を占め、省エネ、再生可能エネルギーを活用した仕組みの導入が必要とされています。

今回の提携では、ダイキンの省エネ・環境性能が高い空調・冷熱関連の豊富な製品群を軸に、ダイキンアプライドが培ってきたエンジニアリング力をベースにしながら、三浦工業の工場を中心とした顧客への提案や設備運用・サポートといったフィールドサービス力を融合し、工場全体での省エネや CO₂ 排出量の削減等の課題解決につなげます。ひとつとして同じ設備のない産業用の熱利用の現場においてさまざまな熱の融通を可能にすることをめざし、熱のゼロエミッションへの挑戦を幅広く加速していきます。

将来的には、日本で確立した工場でのソリューションメニューを世界各地に広げ、世界の生産現場における脱炭素化に貢献していきます。

〔ダイキンの概要〕

会社名：ダイキン工業株式会社

設立：1924 年 10 月 25 日

本社：大阪府大阪市

代表者：代表取締役社長 兼 CEO 十河 政則

資本金：850 億円

従業員数： 98,162 名（連結）

主な事業：空調・冷凍機、フッ素化学、油圧機器部品などの製造・販売

〔ダイキンアプライドシステムズの概要〕

会社名：株式会社ダイキンアプライドシステムズ

設立：2004 年 6 月 29 日

本社：東京都港区

代表者：取締役社長 三品 孝

資本金：3 億円 ダイキン工業 100%出資の子会社

従業員数：550 名

主な事業：工場など業務用の空調・冷熱システムのサービス、エンジニアリング

〔三浦工業の概要〕

会社名：三浦工業株式会社

設立：1959 年 5 月 1 日

本社：愛媛県松山市

代表者：代表取締役社長執行役員 CEO 兼 CTO 米田 剛

資本金：95 億円

従業員数：6,135 名（連結）

主な事業：小型貫流ボイラ・船用補助ボイラ・排ガス（廃熱）ボイラ・水処理機器・
食品機器・滅菌器・薬品等の製造販売、メンテナンス、環境計量証明業
等

以上